

秋の星空

【児童センター秋の星空 10月号】

秋の星々はあまり明るい星はなく、寂しい季節です。1等星はペガサス座の下、南天の空低くにある南の“みなみのうお座”に輝くフォーマルハウトただ一つです。

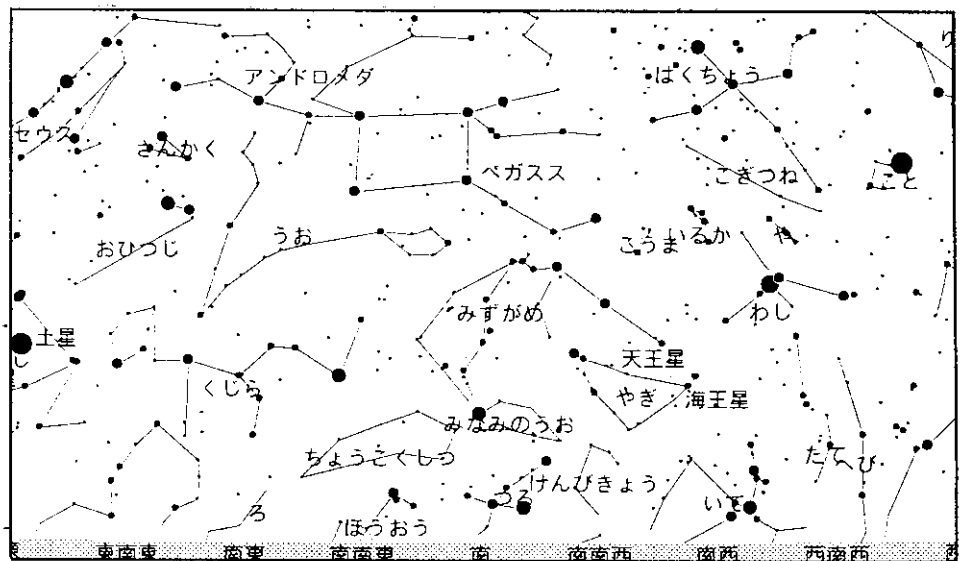
ギリシャ神話によると、ケフェウス(座)の国王とカシオペア(座)妃の一人娘、アンドロメダ(座)姫が海の化けクジラの生けにえとなってしまいます。その光景を天馬ペガサスに乗った勇者ペルセウスが助け出すという、壮大な秋の星座神話があります。

秋の夜長、それら秋の星座をたどってみるのも楽しいですね。

<10月の星空カレンダー>

- 5日(木) ①上弦
- 10日(火) 十三夜
- 13日(金) ②満月
- 20日(金) ③下弦
- 27日(金) ④新月

右の星図は、10月中旬夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

☆南の空に、秋の四角形（ペガサス座）が見える時間に、東の空にひときわ明るい星が見えます。これは、木星という惑星でそのすぐ南側に土星があります。どちらの惑星もこれからが観測シーズンとなります。双眼鏡を使うと2つの惑星の間に「おうし座」のヒアデス星団が見えます。星がたくさん集まっていますのでとても綺麗です。

さらに、10月16日の宵には満月を過ぎた月がヒアデス星団に接近します。

☆宵の明星の金星が西空の低く、夕焼けの空の中で見えます。

10月の金星はかなり低空ですが、年末にかけて次第に高度が上がり、肉眼でも見やすくなってきます。